

凍結・破裂に備える方法

- 長期間留守にするときは元栓（止水栓）を閉める。
- 露出している水道管や蛇口に防寒材や布などを巻きつけて防寒する。
（布などで保温する場合は、ビニールなどを上から巻いて濡れないようにする）
- 翌朝の冷え込みが予測されるような時には、蛇口を少し開けておく。（水道料金が上がるため、水の出し過ぎに注意）

特に次のようなところにある水道管や蛇口には、必ず防寒をしてください。

- 水道管がむき出しになっているところ
- 屋外で日が当たらないところ
- 風あたりが強いところ

また、夜間の凍結に備えて就寝前に汲み置きをしたり（明朝の炊事用）、トイレの水が出なくなったときに備えて風呂に残り湯をためておくことをおすすめします。

防寒材の巻き方（例）



防寒前の水道管



防寒後の水道管

凍結した場合の対処方法



自然に溶けるのを待つか、凍った部分にタオルなどをかぶせて、その上からぬるま湯をゆっくりかけてください。

熱湯を使用すると水道管が破裂する恐れがありますので、必ずぬるま湯をかけてください。

破裂した場合の対処方法

水道メーターボックスの中にある止水栓を閉め、[指定給水装置工事事業者](#)へ修理を依頼してください。

破裂・漏水に気がつかないケース

地下や壁の中など、気づかないところで漏水している場合があります。

寒気が緩んできたら要注意

水道管が破裂しても凍ったままなら漏水しないため、破裂したことに気がつきません。寒気が緩んで氷がとけ始めると水が噴出することがあります。